ＣＣＮｅｔ岐阜局　2022年度放送番組審議会議事録

１．開催期間　2023年3月13日(月)～2023年3月31日(金)

２．開催形式　書面開催

３．委　員　　各務 英雄　　（各務原商工会議所 専務理事）
　　デュアー貴子（東海学院大学 健康福祉学部 学部長）
　　栗本 貴美子　（各務原商工会議所 女性会 直前会長）
　　永井 紀美子　（各務原市女性会議 会長）
　　小林 由孝　　（各務原市市長公室　広報課長）

４．議事
（１）自主制作番組の内容検討について
（２）２０２２年度の制作番組実績報告について

５．要旨
（１）自主制作番組の内容検討について
【試写番組①】

◇ウィークリーかかみがはら（20分番組・毎週更新）
「２０２３年１月３０日初回放送分」
（放送内容）
・市交通安全式典
・蘇原第一小学校　”つよいぞ！ぎふっ子プロジェクト”
・各務原芋煮会で地域の輪、人の輪を広げよう！
・集まれ！冬遊び隊

【ご意見・ご感想】
・「市交通安全式典」は、音量が一定ではなく聞きづらかった。
・「蘇原第一小学校　”つよいぞ！ぎふっ子プロジェクト”」は、良く撮影出来ていて参加者の笑顔が印象に残った。
・「蘇原第一小学校　”つよいぞ！ぎふっ子プロジェクト”」では、大学の先生の話もあり、この行事の意図がよく理解できた。このような番組構成は素晴らしい。
・「各務原芋煮会で地域の輪、人の輪を広げよう！」は、料理の様子をもう少し長く見たい。
・「集まれ！冬遊び隊」は、番組を通して「季節ごとの遊びや自然、アウトドア」に興味関心を持つ子どもが増えるきっかけになればと思った。
・番組の中で職場体験の小学生も出演している点が興味深く、市民主役の各務原市情報番組ならではだと感じた。

・職場体験の小学生が番組に出演することは、より地域と密着した感じが出て良い。
・番組内容全体としては、地域の話題を魅力的に伝えている点が素晴らしい。多様な情報を知ることのできる良い番組。
・「市民主役の各務原市情報番組」として目的に沿った構成になっている。一つ一つの情景がしっかり捉えられていて、見やすく分かりやすい。
・「市民が主役」というコンセプトが良い。特に子どもたちが主体となり、そこに大学やＪＡなどの団体や地元住民が関係している内容は、高く評価できる。

【試写番組②】

◇「かかみがはら拉麺街道巡りデジタルスタンプラリーご紹介」 （概要）各務原市観光協会が企画するグルメイベント「かかみがはら拉麺街道巡りデジタルスタンプラリー」の参加店舗を紹介。店主自らが試食し「自画自賛」する、という構成で制作。

【ご意見・ご感想】
・イベントについて詳しく説明があり、視聴者の方にわかりやすい内容だと感じた。店主が感想を話す「自画自賛」が珍しく面白い。
・麺類に限らずグルメの紹介は興味深い。一度はぜひ行ってみたいという気になります。
・店主による「自画自賛」は、自信満々な笑みから「美味さ」が伝わる。味や食材など、こだわりがもう少し具体的に紹介されるとなお良い。
・明るく仕事を頑張っている姿が良く映し出されていて食事に行きたくなる。地図があると良い。
・その店独自のこだわりがわかり外食の参考になる。
・企画が面白い。紹介された店舗をよく利用するが、改めて興味をもった。
・参加全店舗のＰＲをリレー形式で伝えるような構成も良いと思う。

（２）２０２２年度の制作番組実績報告について
【ご意見・ご感想】
・番組編成（取材選定）のバランスが良い。
・コロナ禍で行事等に制約があった期間から少しずつ回復していることが番組を通して伝わる。特に子供たちの笑顔が戻ってきたのがとても嬉しい。
・民踊や舞踊などが取り上げられていて良い。要望としては、「踊りの流れ」や「隊形」、「アップ」が見たい。

・番組に取り上げられると、地元の人たちから「テレビに出ていたよ」と声をかけられることがあり嬉しい。
・「ウィークリーかかみがはら」では、市主催行事が多く取り上げられていてありがたい。
・「自治会活動」も取り上げていることを今回初めて知った。自治会加入者が減少し存続が難しい自治会もある中で、こうした取り組みは自治会活動の参考にもなり、活性化につながると思う。
・「ウィークリーかかみがはら」の編成内容を見ると、「学校」や「園」などの割合をもう少し高くしてもいいのではと感じた。また、「自治会活動」の割合が極端に低いので、各ジャンル均等になっていくとよい。

（３）そのほか、コミュニティチャンネル全般について

【ご意見・ご感想】

・地域に根差した必要な情報を細かく報道している。市民の方にとって貴重な情報源だと思う。
・番組制作において、制作側は話題を伝えることができ、参加者側は笑顔にあふれ、双方の喜びを感じることができる。
・今後も地域に根差した情報を多く発信し、各務原市のみなさんと一緒に「明るく元気で住み良いまちづくり」に繋げていってほしい。
・子どもの姿を見ていると元気が出てくるので、今後も学校の様子を番組に取り入れていってほしい。
・防災や交通安全に関する番組を、市と協力し合いながら制作していくとよい。

以上

CCNet 川辺支局
第２３回放送番組審議議事録

１．開催方式　　書面開催

２．開催期間　　２０２３年３月２２日（水）～２０２３年３月３１日（金）

３．委員　　佐光　博司　（美濃加茂商工会議所　専務理事）
佐合　芳文　（美濃加茂市経営企画部　秘書広報課長）
後藤　道昭　（八百津町商工会　事務局長）
奥村　芳弘　（八百津町役場　総務課長）
藤井　勝則　（白川町商工会　事務局長）
長尾　弘巳　（白川町役場　企画課長）
小木曽　誠二（川辺町商工会　事務局長）
重本　佳明　（川辺町役場　企画課長）

４．議事　　行政情報番組および自主制作番組の内容検討

◇試写番組：「ウィークリーみのかも」2022.9.19～放送『届けよう服のチカラプロジェクト』

【ご意見・ご感想】

○児童の活動の様子やプロジェクトの内容がよく伝わっている。地域密着型のプロジェクトであることが分かりやすく、さりげなく分かる。

○児童の動きがあり、とても分かりやすい良い番組であったと思います。動画を流す際のバックミュージックが大きいような気がしました。

○地域の企業に小学校が世界的なプロジェクトに関わるということは、小学生にとって素晴らしい体験になるでしょう。こうしたプロジェクトの周知にも役立ちます。

○完成した動画が見られるのが良かった。

○番組の企画構成が良く、子どもたちの活動状況と学習効果の高さが良く伝わってきた。テレビPRの効果が大きくたくさんの服が回収できたことと思う。

○大手企業とコラボレーションができ、良い企画だと思う。

○プロジェクトの趣旨と子ども達の意識の高さがよく伝わってきましたし、一流企業とのコラボも今後の進展が想像できる程具体性があり、とても良かったと思います。

○非常に良い取り組みがうまく映像にまとめられていた。子どもたちはこの取り組みを通じ、戦争の悲惨さや貧困問題、また物の大切さを学べたのではと思う。このようなプロジェクトは継続して配信してほしい。

【ご質問・ご要望】

○この企画が、この小学校のみの活動なのか、他の学校では取り組みが無いのか知りたかった。

○視聴者視点から、結果がどうなったか知りたいと思いました。

（事務局）
○取材対象によって継続した取材を行っていきたい。

◇試写番組：「ＣＣＮｅｔやおつ」2022.9.27 放送『大学生が内堀醸造見学』

【ご意見・ご感想】

○初めのアナウンサーの位置が遠すぎるのではないか。代表の説明の内容がよく分からないし、質問の内容や答えが視聴者に分かりづらい。テロップが無いので内容が良く伝わってこない。学生を主としての番組のほうが良かったのではないか。
○オープニングのスタジオでの様子がもっと明るい雰囲気だと良いと思います。学生さんたちの表情をとらえており、一生懸命さが伝わってきました。
○町内企業で大学生の研修受け入れが行われていることを知りました。大学生のインタビューを聞いていて、大学卒業後にこの企業に就職されることを期待しました。「福地そば祭り」も放送されたと思います。大学生と地域の人達が交流している姿を見てみたいと思いました。
○大学生と「福地そばの会花見会」の関係や、詳しい活動内容の説明があると良かった。学生が質問した内容や回答などの様子もあると良かった。
○愛知淑徳大学と福地そばの会との関係、愛知淑徳大学と内堀醸造との関係、また、どうして花見会でビネガードリンクを販売することになったのかの簡単な説明があると良かった。
○大学生と社会人の交流から商品開発が期待され、企業創始者の思いも伝わってきた。
○企業への学生訪問は双方にとって有意義で有効的だと感じます。このような放送を継続して行っていただきたいと思いました。
○代表者の説明を聞き洩らすまいと、ノートにペンを走らす生徒のアップ映像が良かった。ダムと同様、こちらも施設を上空からのドローン映像があれば良かった。

【ご質問・ご要望】
○テロップがあると内容が分かりやすかったのではないか。
○学生にとって創始者が目指す人物像になっているが、最初から狙っていたのか。
○このあとに行われたイベントで販売又はサービスされたと思うが、取材したかどうか。

（事務局）
○構成・テロップなどを工夫し、伝えたい事が伝わる番組づくりを心掛ける。開発した商品をイベントで販売する様子も後日取材・放送した。

◇試写番組：「めざましししらかわ」2022.7.8 放送『地域医療について学ぶ 関西医科大学生研修レポート』

【ご意見・ご感想】

○研修生が地域医療に真剣に取り組んでいるのがよく分かる番組になっている。話をしているときにテロップが入るともっと良かった。
○学びの多さが伝わってきました。一人一人の声をしっかり聞ける番組となっており、先生からのメ

ッセージ性もあり良いと思いました。
○この番組は取材先が医療現場なので取材が非常に難しかったのではないかと思いました。限られた中での取材と番組構成は大変ですね。
○地域に密着した医療の様子、目指す姿が見られて、地元の人にとって病院がより身近に感じられると思った。
○病院の取材はスケジュール調整が大変だったと思う。院長先生のインタビューも入っており上手くまとめられていた。最後は局で締めていただくと良かったと思う。
○在宅医療を知ることができ、良かった。
○多くの課題がある地域医療について、医師の卵である医学生が研修することはとても意義があり、放送側からしても存在意義を十分アピールできる事項だと思います。映像からも地域医療の現実を医学生の意見を交えて取り上げているのは印象深いものでした。とても良かったと思います。
○学生、医師のインタビュー以外に、プライバシーの問題で難しいかもしれないが医療を受けている方のインタビューがあっても良かったのでは。

【ご質問・ご要望】
○初めにめざましししらかわを映した時の看板と文字の色が同じようで見えにくいのではないか。
○地方の医療状況を垣間見ることができ、学生受け入れの取り組みを継続して取材すると良い。

（事務局）
○今回のご意見をバーチャルセットの更新時に参考にする。対象によっては継続的な取材を検討する。

◇試写番組：「キャッチ！かわべ」2022.8.22 放送『ふるさと吉田愛好会が権現山に東屋を』

【ご意見・ご感想】
○話の内容がよく伝わらないので、全般にテロップを入れたほうが良いと思う。ダイジェストの説明時にも所々でテロップを入れたほうが良い。権現山の登山口への場所が分からないので地図での説明が欲しかった。
○オープニングのアナウンサーの方の自分のことも含めた話があり良いと感じます。他の番組も同様に話をしてみてはいかがでしょうか？登山口から山頂までの映像はもっと登山をしている感じを出すと良いと思いますし、応接での話で終始せず、外や山で話が聞けると良いと感じました。
○今の時代、地域ボランティアの活動は非常に重要です。地域はこうした方達に支えられているということが良く分かります。
○登山道のダイジェスト映像は、山頂までの道の様子や長さのイメージができて良かった。話している内容の聞き取りにくいところがあるため、テロップがあると良かった。
○東屋の作成経緯がよくわかる番組となっていた。登山口から山頂までの動画が流されており良かった。途中での眺望も映されており良かったが、山頂からの見晴らしはどうだったのか気になった。最後、権現山の登山口へのアクセスマップがあると良かった。

〇地元を思う気持ちが伝わってきて、行ってみたいと思わせることができている。
〇地道な活動が良く伝わってきましたが、観光地としての魅力の発信が少なかったように思えました。
〇実際に作業をしている映像があると良かった。また、登山している人達の声も聞けると良かった。

【ご質問・ご要望】
〇地域の場所の紹介番組には、地図を挿入し説明したほうがよく分かる。
〇具体的な場所がわからないので、行ってみたいと思ってもすぐに行けないと感じた。
〇訪れた観光客（登山客）のインタビューがあっても良かったと思いました。

（事務局）
〇今後地域の観光紹介では場所を分かり易く表現する。

以上